

4. 結婚や子ども・子育てについて

これまでの調査の結果から、「家族」や「結婚」、「子どもを持つこと」は県民の幸福実感と密接な関連があり、県民の幸福実感向上のためには、結婚・妊娠・子育てなどの希望がかなえられるようにしていく必要があります。

ここでは、「結婚に対する考え方」や「子ども・子育て」などの集計結果について記載しています。

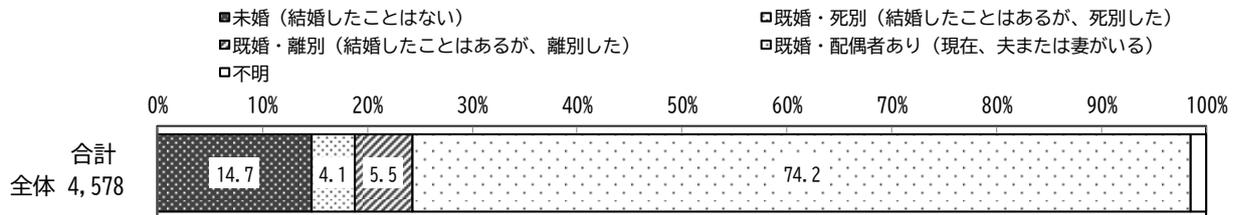
項目	質問文の概要
結婚経験 (問6)	これまでに結婚をしたことがあるか
結婚に対する 考え方 (問6-2)	(問6で「未婚」と回答した方へ) 今後の人生を通して考えた場合、結婚に対する考えは、次のうちどちらか (1) いずれ結婚するつもり (2) 結婚するつもりはない
理想の子どもの人数 (問9)	子どもを何人くらいほしいか、あるいは、ほしかったか
実際の子どもの人数 (問10)	子どもの有無
子どもの属性 (問10-2)	現在、ご家庭にいる子どもの属性 (未就学児、小学生・中学生、高校生、大学生など)
男性の家事・育児参画 (問11)	今後、男性が家事や育児に参画していくためには、 どのようなことが必要だと思うか
子育てと仕事の両立 (問12)	子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策
地域社会の見守りの中での 子ども・子育て (問13)	地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか
ヤングケアラーについて (問14)	「ヤングケアラー」について知っていたか
フリースクールについて (問15)	「フリースクール」について知っていたか
人口減少対策について (問16)	子育て支援策のうち人口減少対策として必要だと思う対策

4.1 結婚について

問6 あなたは、これまでに結婚したことはありますか。

- 回答者の配偶関係は、「未婚」が14.7%、「有配偶」が74.2%、「死別」が4.1%、「離別」が5.5%となっています。

図表 4-6-1 配偶関係



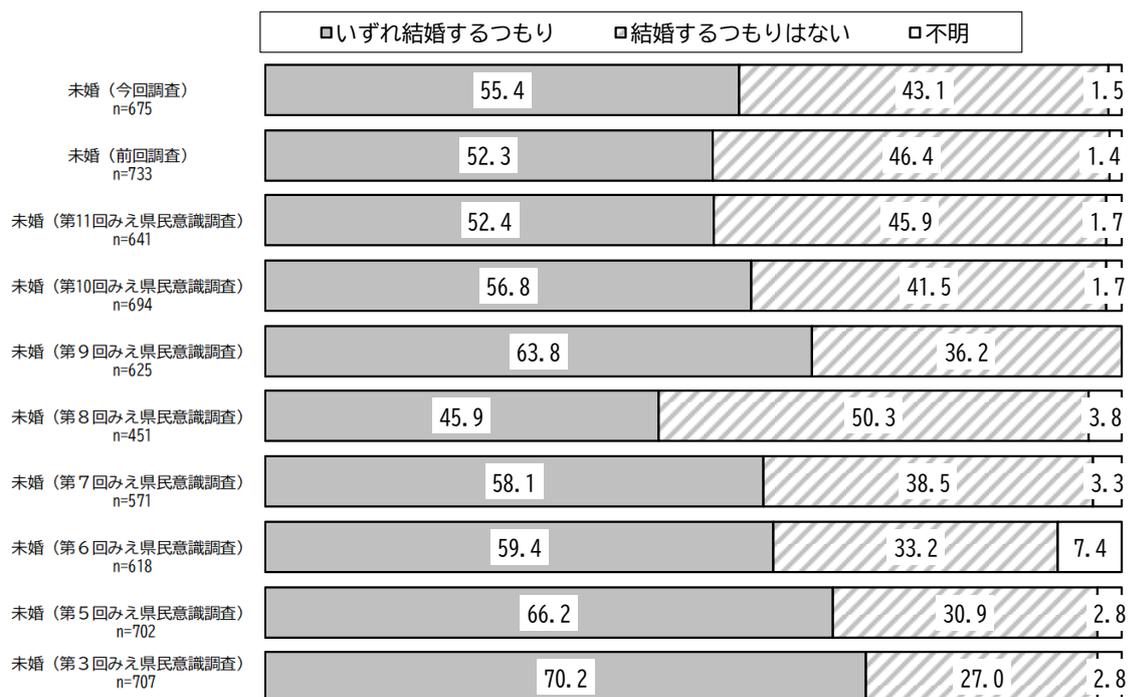
※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

問6-2 これまでに結婚したことがない方 (問6で「未婚」を選んだ方) におききます。

今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

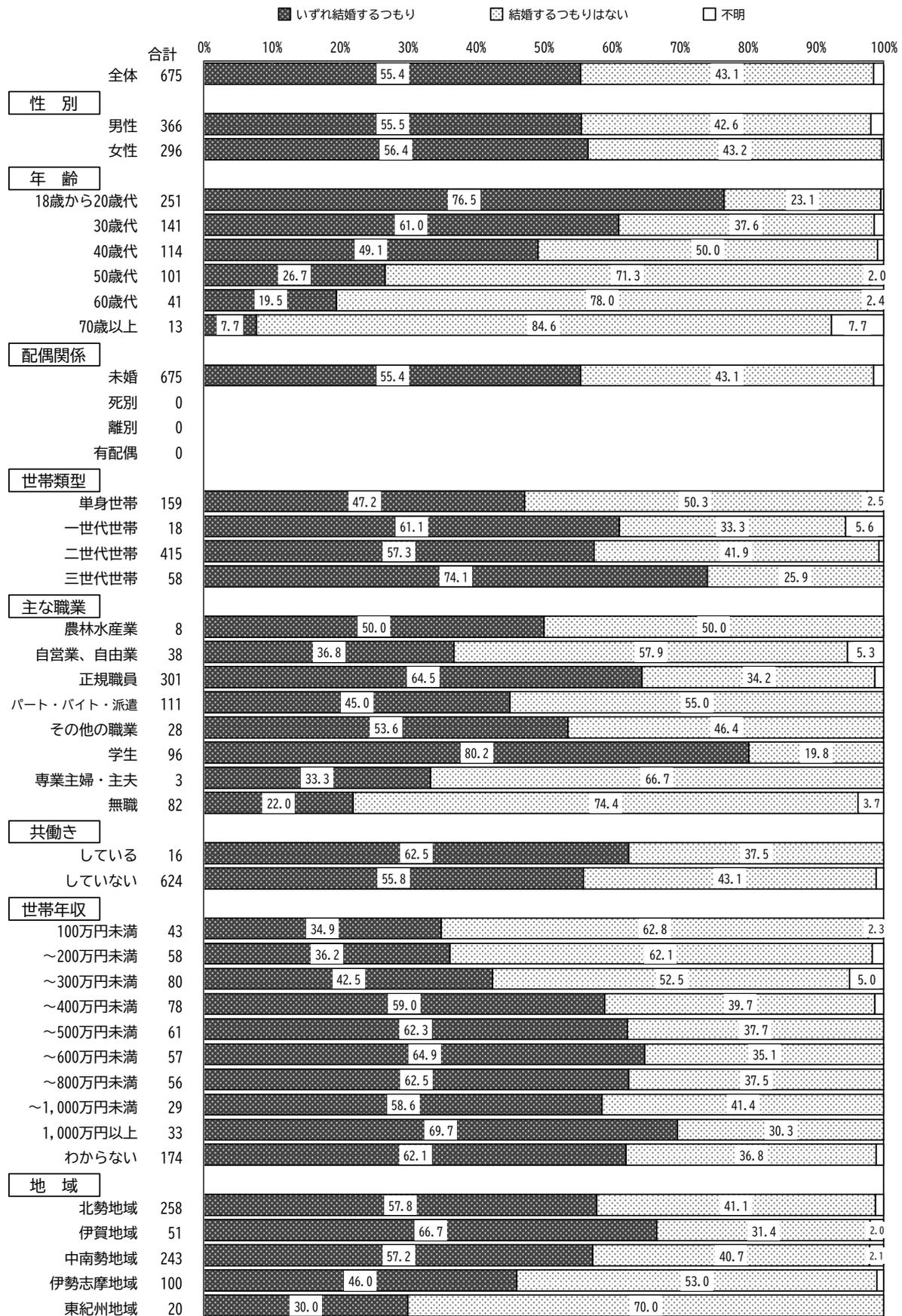
- 結婚に対する考え方について、未婚の方は「いずれ結婚するつもり」が55.4%、「結婚するつもりはない」が43.1%となっています。

図表 4-6-2-1 未婚の方の結婚に対する考え方



※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

図表 4-6-2-2 未婚の方の結婚に対する考え方（属性別）



※本質問の回答割合(%)は、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※グラフのない項目は、該当がないかサンプル数が10未満のため、公表を差し控えたものです。

4.2 子ども・子育て支援について

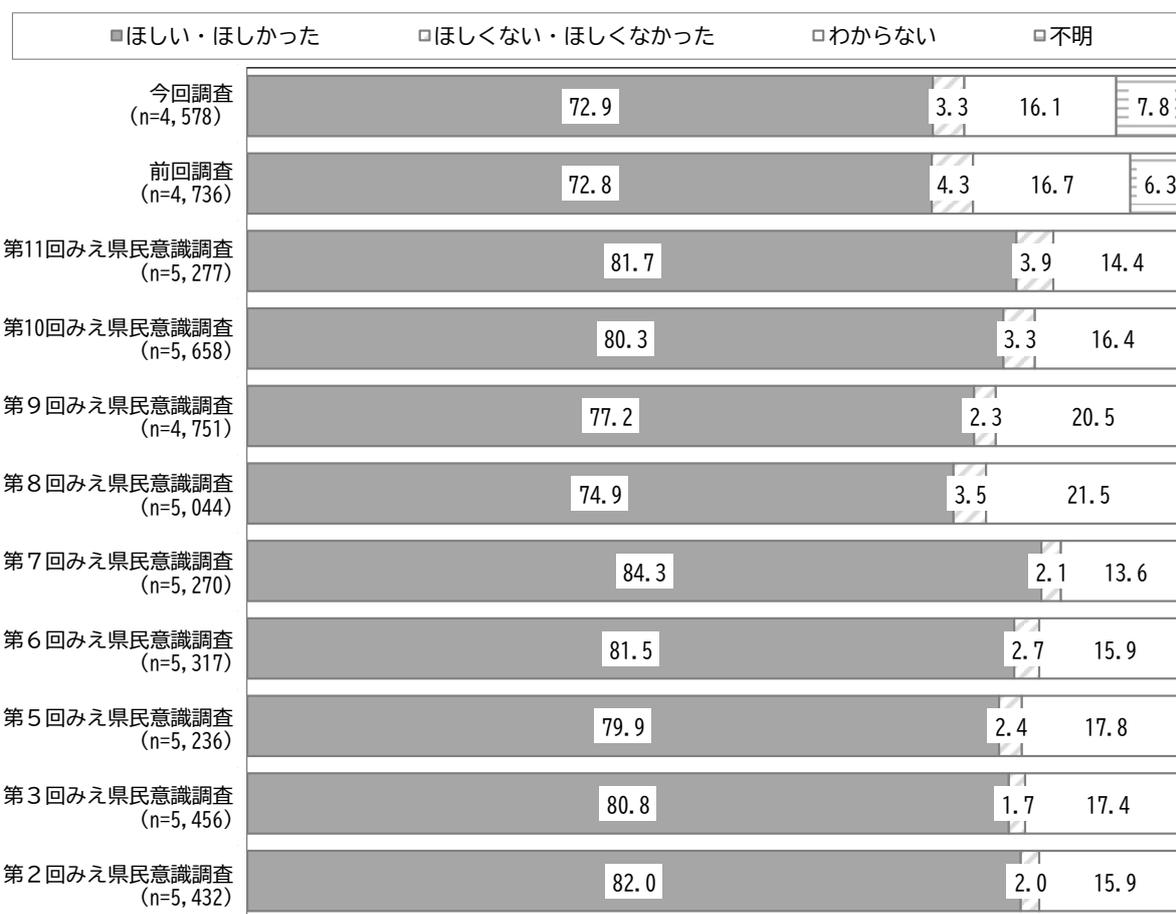
問9 あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。

▶ 子どもを希望する割合

○ 子どもの希望を質問したところ、「子どもがほしい・ほしかった」の割合は72.9%で、前回調査より0.1ポイント高くなっています。

図表 4-9-1 子どもを希望する割合

(%)

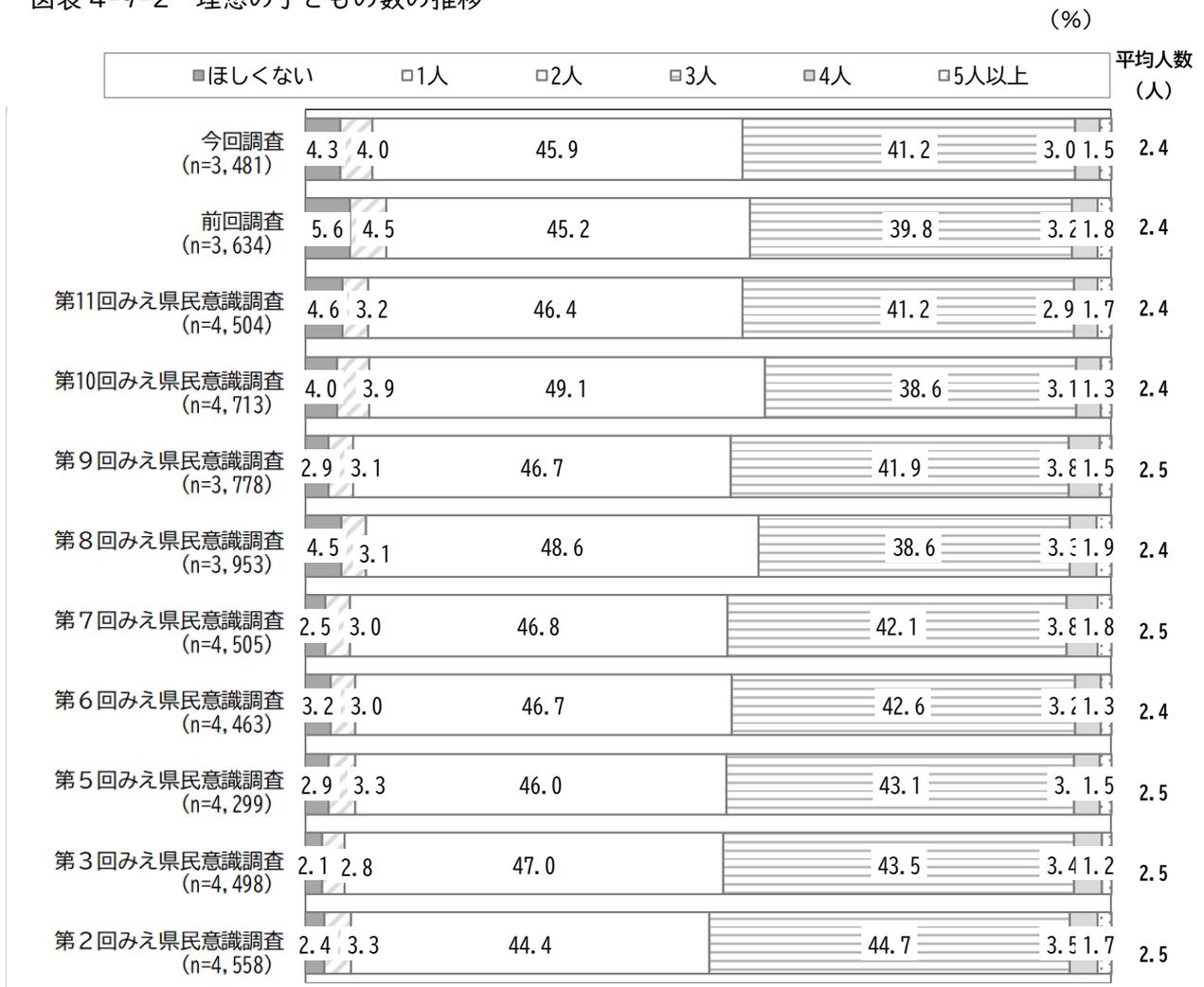


※第11回みえ県民意識調査以前は「わからない」と「不明」を合算し、「わからない」で計上

➤ 理想の子どもの数

- 理想の子どもの数について、「2人」の割合が45.9%で最も高く、次いで「3人」(41.2%)となっています。前回調査と比較すると「2人」、「3人」の割合はそれぞれ高くなっています。

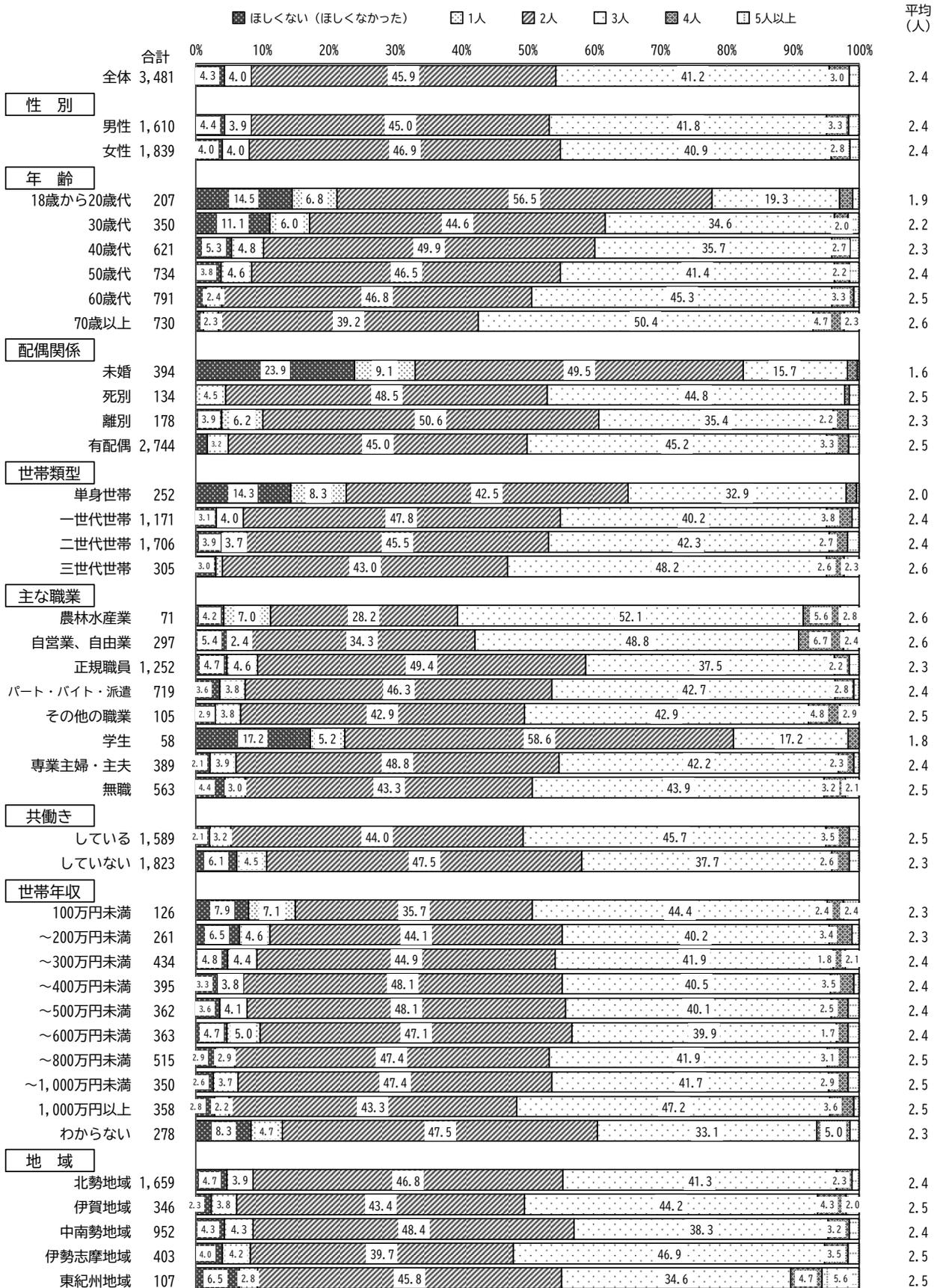
図表 4-9-2 理想の子どもの数の推移



※理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出

※平均値は、「ほしくない」の回答を「0人」として算出

図表 4-9-3 理想の子どもの数（属性別）



※理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出

※平均値は、「ほしくない」の回答を「0人」として算出

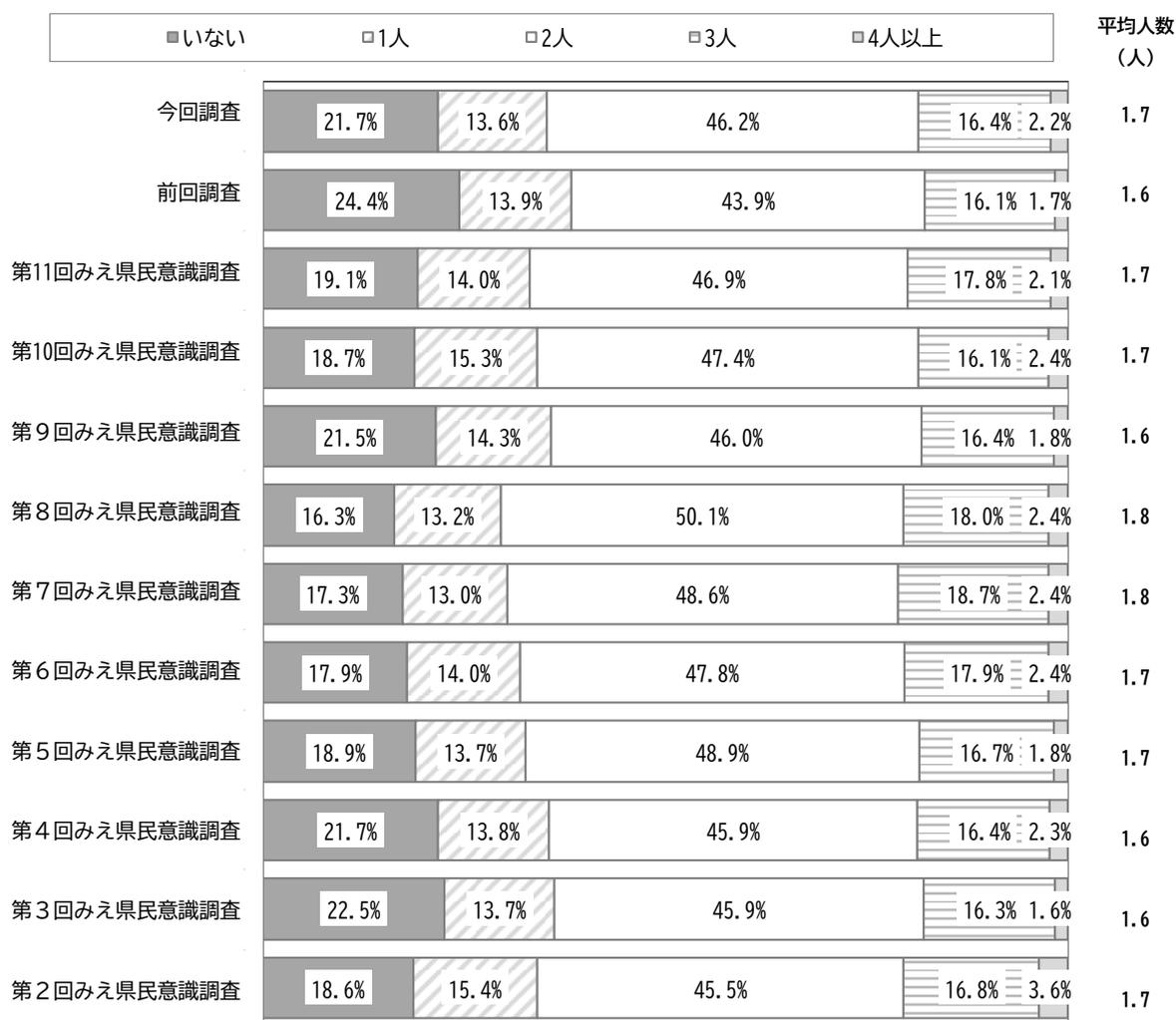
問 10 お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

➤ 子どもの数

○ 実際の子どもの数を質問したところ、「2人」が46.2%、「いない」が21.7%、「3人」が16.4%、「1人」が13.6%となっています。

なお、回答された方の子どもの平均人数は1.7人で、前回調査より0.1ポイント高くなっています。

図表 4-10-1-1 子どもの数

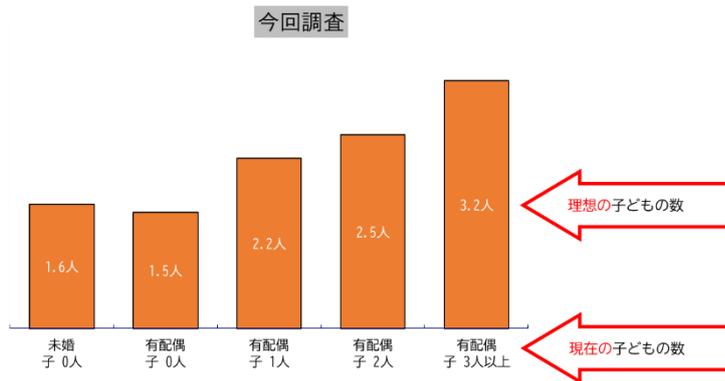


※ 「不明」を除いて回答割合(%)や平均人数を算出

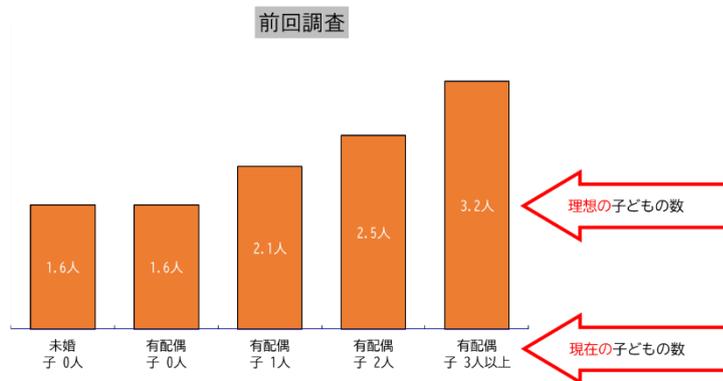
子どもの数の理想と現実のギャップ（参考集計）

○ 18歳以上から40歳代を対象に実際の子どもの数と理想の子どもの数の関係を見たところ、理想の子どもの数は、未婚で子どもがいない層は1.6人、有配偶で子どもがいない層は1.5人、有配偶で子ども1人の層は2.2人、有配偶で子ども2人の層は2.5人で、実際の子どもの数は理想の数より少なくなっています。また、前回調査と比べると、理想の子どもの数は、有配偶で子どもがいない層で0.1人減少し、有配偶で子ども1人の層で0.1人増加しています。

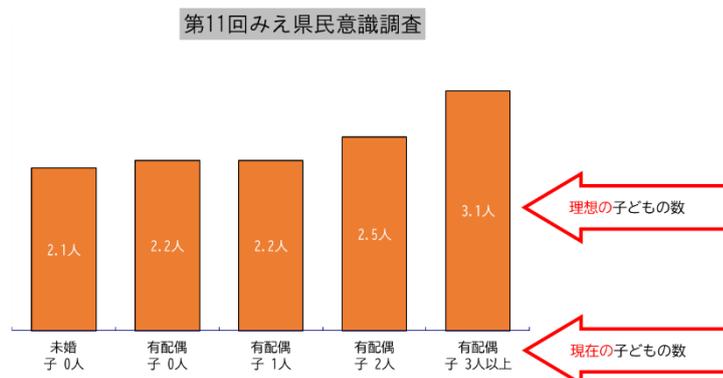
図表 4-10-1-2 18歳以上から40歳代の子どもの数の理想と現実（今回調査）



図表 4-10-1-3 18歳以上から40歳代の子どもの数の理想と現実（前回調査）



図表 4-10-1-4 18歳以上から40歳代の子どもの数の理想と現実（第11回みえ県民意識調査）

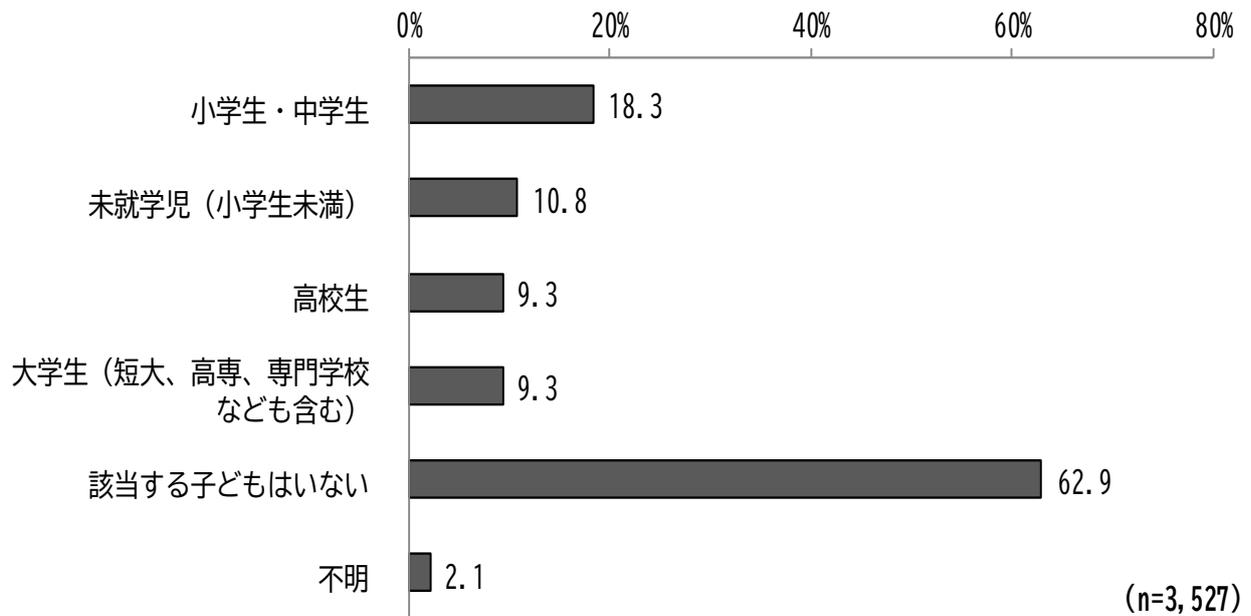


問 10-2 現在、ご家庭に次の方はいますか。該当があれば○をつけてください。
(複数回答可)

➤ 現在、ご家庭にいる子どもの属性

○ 現在、ご家庭にいる子どもの属性を質問したところ、以下のとおりでした。

図表 4-10-2-1 現在、ご家庭にいる子どもの属性

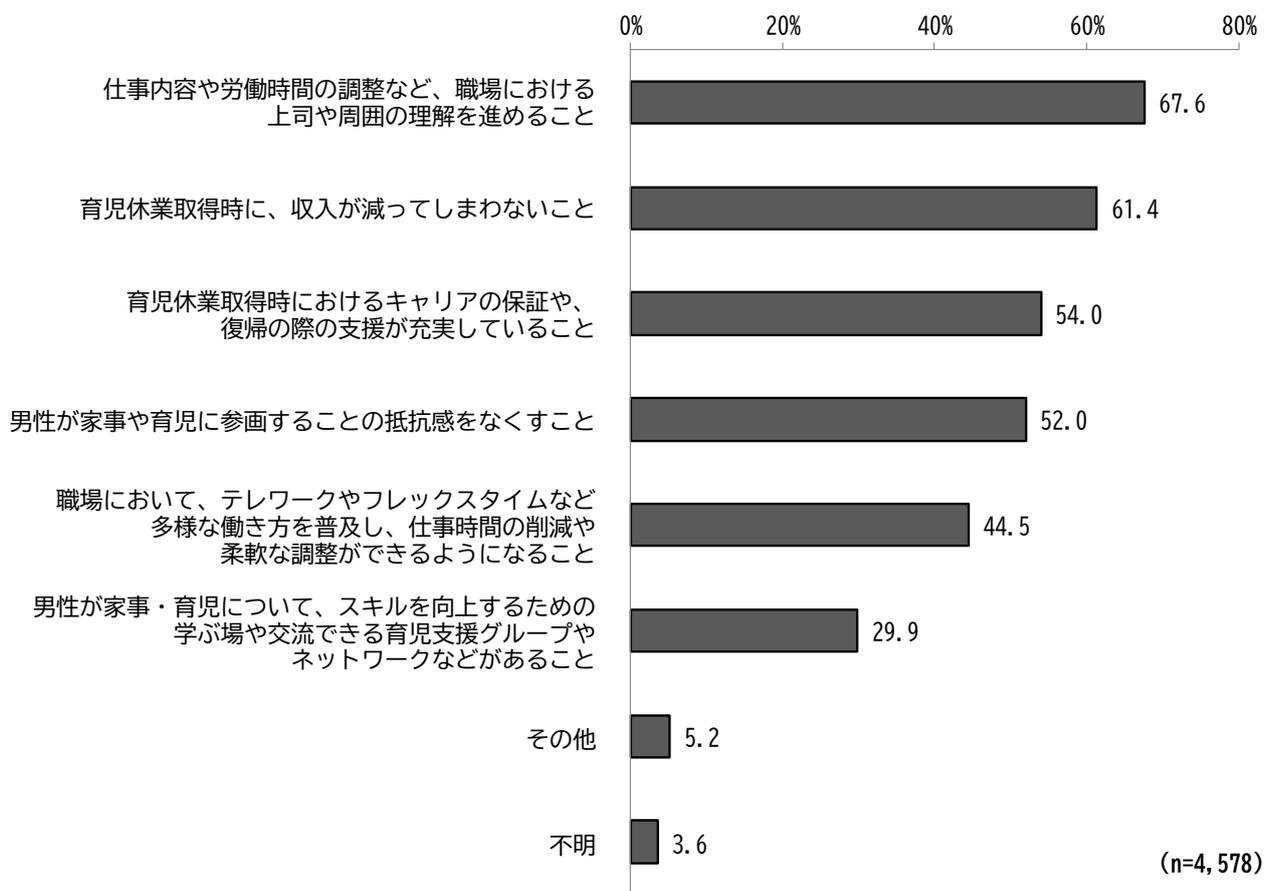


※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出

問 11 あなたは、今後、男性が家事や育児に参画していくためには、
 どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)

○ 男性が家事や育児に参画していくためには、どのようなことが必要だと思うかについて質問したところ、「仕事内容や労働時間の調整など、職場における上司や周囲の理解を進めること」の割合が 67.6%で最も高く、次いで「育児休業取得時に、収入が減ってしまわないこと」(61.4%)、「育児休業取得時におけるキャリアの保証や、復帰の際の支援が充実していること」(54.0%)となっています。

図表 4-11-1 男性が家事や育児に参画していくためには、どのようなことが必要か



※本質問の回答割合%は、「その他」、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

図表 4-11-2 男性が家事や育児に参画していくためには、どのようなことが必要か（属性別）

合計欄は回答数 (n)、選択肢欄は回答割合 (%)

		合計	男性が家事や育児に参画することの抵抗感をなくすこと	育児休業取得時に、収入が減ってしまわないこと	育児休業取得時におけるキャリアの保証や、復帰の際の支援が充実していること	仕事内容や労働時間の調整など、職場における上司や周囲の理解を進めること	職場において、テレワークやフレックスタイムなど多様な働き方を普及し、仕事時間の削減や柔軟な調整ができるようになること	男性が家事・育児について、スキルを向上するための学ぶ場や交流できる育児支援グループやネットワークなどがあること	その他	不明
全体		4,578	52.0	61.4	54.0	67.6	44.5	29.9	5.2	3.6
性別	男性	2,092	44.4	60.5	57.0	65.5	39.7	27.1	4.8	3.5
	女性	2,420	58.7	62.8	57.1	70.1	49.0	32.5	5.4	3.2
年齢	18歳から20歳代	304	53.9	72.0	63.2	72.7	59.2	30.3	2.6	0.7
	30歳代	435	45.3	70.8	57.7	72.0	49.0	26.0	7.8	1.4
	40歳代	755	49.8	63.3	54.0	71.8	46.1	27.4	7.5	1.1
	50歳代	935	52.4	61.5	55.7	67.1	47.1	27.5	6.5	1.8
	60歳代	1,032	50.0	62.3	55.0	71.0	46.4	31.8	3.4	3.0
	70歳以上	1,031	58.1	53.7	48.2	59.4	33.6	33.7	3.6	8.4
配偶関係	未婚	675	50.5	63.6	56.3	69.5	49.5	27.1	6.1	1.3
	死別	187	56.7	53.5	49.2	61.5	38.0	30.5	2.7	9.1
	離別	250	50.4	61.6	48.0	66.4	41.2	30.8	4.8	4.8
	有配偶	3,396	52.8	62.0	54.7	68.3	44.6	30.7	5.2	2.9
世帯類型	単身世帯	365	57.0	60.0	50.7	65.5	40.8	28.2	5.5	6.3
	一世代世帯	1,511	54.5	62.5	53.5	68.0	43.9	32.6	3.7	3.8
	二世帯世帯	2,221	50.1	61.4	55.0	69.3	46.0	28.9	6.1	2.4
	三世帯世帯	384	55.7	62.0	57.0	62.8	45.3	26.8	3.1	4.7
主な職業	農林水産業	87	54.0	58.6	55.2	62.1	36.8	29.9	9.2	3.4
	自営業、自由業	387	53.0	53.5	45.0	59.7	39.0	26.6	6.5	5.7
	正規職員	1,527	48.5	64.4	56.3	71.5	48.1	25.8	6.0	1.1
	パート・バイト・派遣	951	52.4	67.8	56.3	71.8	45.3	34.1	4.8	2.4
	その他の職業	154	52.6	59.7	53.2	66.9	38.3	34.4	5.8	5.2
	学生	97	55.7	68.0	60.8	67.0	63.9	29.9	1.0	-
	専業主婦・主夫	521	63.1	62.4	59.1	70.8	49.9	37.4	4.6	3.1
	無職	789	50.3	52.9	48.7	59.8	36.9	28.9	3.4	8.1
共働き	している	1,901	50.9	64.3	55.7	69.9	46.0	29.0	6.3	2.1
	していない	2,537	53.3	60.3	54.0	67.1	44.3	31.1	4.3	3.9
世帯年収	100万円未満	188	52.7	55.3	44.1	57.4	36.2	28.7	3.7	6.4
	～200万円未満	414	52.9	56.3	41.8	57.0	35.0	29.0	4.3	9.9
	～300万円未満	610	54.3	58.7	53.6	66.2	41.3	32.8	3.3	4.1
	～400万円未満	548	51.5	61.9	52.2	66.6	40.7	32.5	5.5	4.2
	～500万円未満	446	52.5	66.8	58.3	75.1	45.3	31.6	4.0	2.0
	～600万円未満	429	52.4	67.1	59.4	69.2	47.3	28.4	6.8	0.7
	～800万円未満	603	51.6	66.8	57.4	73.0	48.8	28.2	5.0	1.3
	～1,000万円未満	409	46.5	60.9	59.9	71.6	54.5	28.4	5.9	1.7
	1,000万円以上	422	50.7	58.1	54.3	68.5	47.9	25.6	4.5	1.2
	わからない	436	56.9	60.8	55.0	66.1	47.5	32.6	7.6	3.2
地域	北勢地域	2,135	51.0	60.5	53.7	67.4	44.5	30.7	5.3	3.1
	伊賀地域	466	56.7	62.0	57.7	66.5	43.3	33.3	3.9	4.7
	中南勢地域	1,239	53.3	63.8	55.0	70.5	47.6	28.7	5.6	2.5
	伊勢志摩地域	554	50.4	61.6	52.0	67.7	41.9	28.9	5.1	4.3
	東紀州地域	157	49.0	55.4	49.0	53.5	36.3	22.9	3.2	9.6

※凡例： 第1位 第2位 第3位

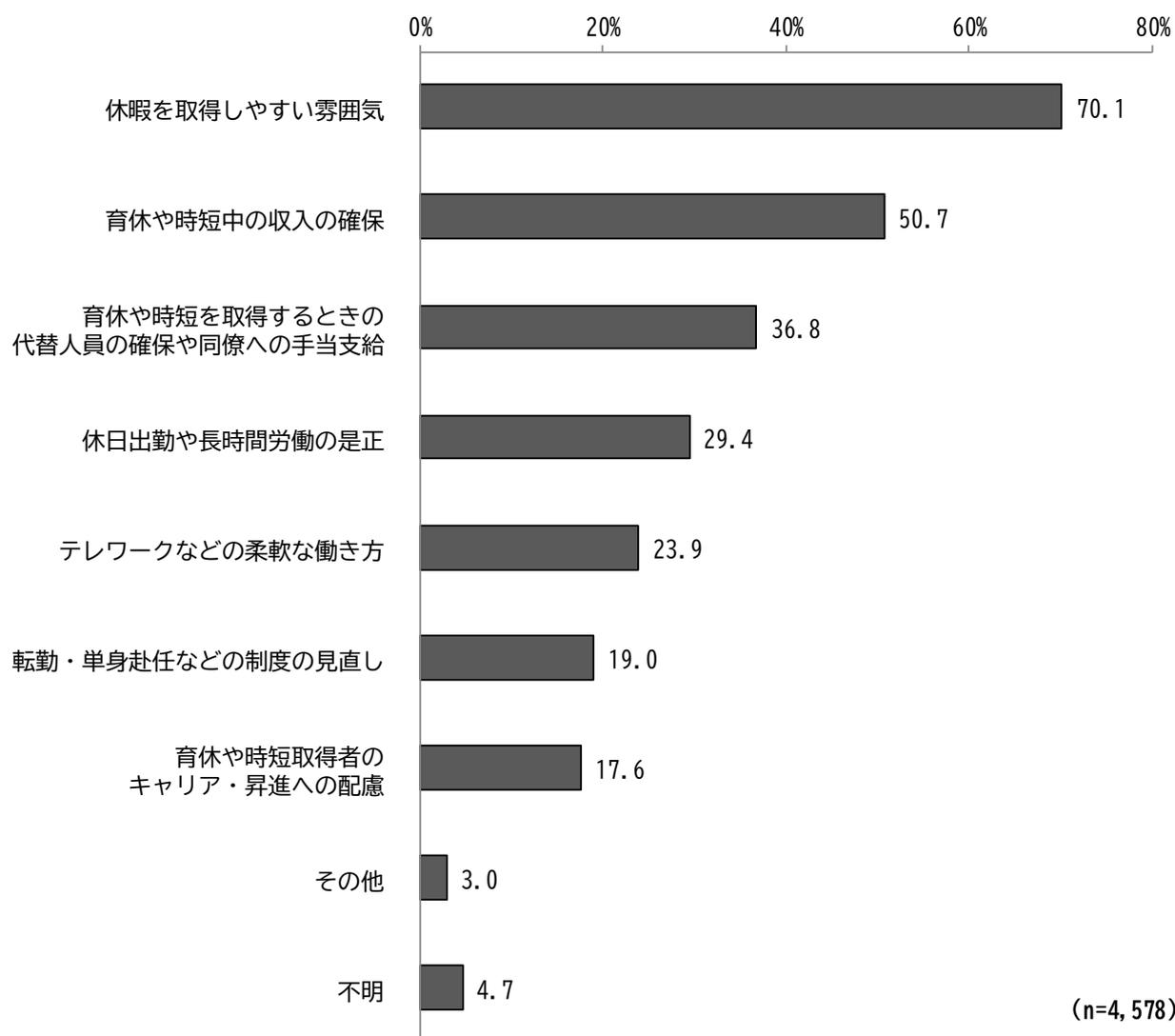
※本質問の回答割合 (%) は、「その他」、「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出

問 12 あなたは、子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策は何だと思いますか。

(〇は3つまで)

○ 子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策について質問したところ、「休暇を取得しやすい雰囲気」の割合が70.1%で最も高く、次いで「育休や時短中の収入の確保」(50.7%)、「育休や時短を取得するときの代替人員の確保や同僚への手当支給」(36.8%)となっています。

図表 4-12-1 子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策



※本質問の回答割合 (%) は、「その他」、「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出

図表 4-12-2 子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策（属性別）

合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（%）

		合計	休暇を取得しやすい雰囲気	育児や時短中の収入の確保	育児や時短を取得するときの代替人員の確保や同僚への手当支給	テレワークなどの柔軟な働き方	転勤・単身赴任などの制度の見直し	育児や時短取得者のキャリア・昇進への配慮	休日出勤や長時間労働の是正	その他	不明
全体		4,578	70.1	50.7	36.8	23.9	19.0	17.6	29.4	3.0	4.7
性別	男性	2,092	66.2	52.5	37.6	21.4	21.3	17.7	30.6	3.5	3.9
	女性	2,420	73.8	49.7	36.5	26.4	16.9	17.4	28.4	2.7	4.8
年齢	18歳から20歳代	304	76.6	63.5	40.8	32.2	9.9	23.4	30.3	1.0	1.0
	30歳代	435	75.4	57.7	43.9	22.1	11.3	21.8	28.3	3.2	2.1
	40歳代	755	69.4	50.6	44.0	26.5	19.6	17.4	25.7	4.1	2.4
	50歳代	935	69.8	49.3	42.5	23.7	17.9	18.9	27.1	3.7	3.1
	60歳代	1,032	69.8	52.1	35.9	23.1	21.1	17.6	31.1	2.2	3.9
	70歳以上	1,031	68.0	44.6	23.6	22.1	23.3	13.2	33.4	3.2	9.3
配偶関係	未婚	675	71.4	50.1	45.3	28.4	14.2	18.2	30.4	2.7	2.4
	死別	187	69.0	34.8	21.9	23.5	23.0	13.9	29.4	1.6	10.2
	離別	250	66.4	53.2	31.6	24.8	16.8	18.4	27.6	3.2	6.4
	有配偶	3,396	70.2	51.9	36.4	23.2	19.8	17.6	29.4	3.2	4.5
世帯類型	単身世帯	365	65.8	45.8	34.8	24.9	18.4	17.5	26.8	3.3	6.8
	一世帯世帯	1,511	69.4	51.0	32.8	23.2	20.2	18.6	30.6	3.0	5.0
	二世帯世帯	2,221	71.6	51.3	40.1	24.7	18.3	16.6	29.0	3.1	3.4
	三世帯世帯	384	70.8	53.1	37.8	23.4	18.8	20.1	28.4	2.3	4.4
主な職業	農林水産業	87	72.4	50.6	21.8	20.7	23.0	17.2	35.6	1.1	5.7
	自営業、自由業	387	61.2	48.1	30.2	26.4	19.9	12.9	27.6	4.9	6.5
	正規職員	1,527	69.8	53.2	46.2	24.1	18.1	20.3	26.7	3.7	2.3
	パート・バイト・派遣	951	76.1	53.3	37.9	22.9	15.8	18.4	28.6	2.0	3.4
	その他の職業	154	70.1	55.2	33.8	24.0	16.9	15.6	27.9	3.2	4.5
	学生	97	78.4	55.7	35.1	39.2	14.4	22.7	29.9	1.0	-
	専業主婦・主夫	521	72.0	50.3	33.0	26.7	21.7	16.7	32.1	1.7	5.0
	無職	789	66.2	43.7	26.5	21.2	23.1	14.4	34.0	3.5	8.5
共働き	している	1,901	71.8	53.7	39.2	22.7	17.3	18.4	27.9	3.5	3.3
	していない	2,537	69.4	49.2	35.7	25.5	20.5	17.4	30.8	2.6	4.7
世帯年収	100万円未満	188	64.4	46.8	30.3	19.1	15.4	14.9	27.1	3.2	8.5
	～200万円未満	414	66.2	42.8	25.4	19.8	17.6	11.1	34.1	3.4	12.1
	～300万円未満	610	72.5	51.0	30.2	24.1	21.6	14.9	36.9	1.8	4.3
	～400万円未満	548	68.8	52.0	32.7	22.1	20.4	19.3	29.7	3.5	5.3
	～500万円未満	446	74.2	56.3	39.2	24.9	17.3	17.7	27.8	2.7	3.4
	～600万円未満	429	73.4	56.4	47.7	21.2	17.5	20.5	28.0	2.3	2.1
	～800万円未満	603	69.8	52.6	43.1	21.4	20.1	17.9	29.4	3.5	2.5
	～1,000万円未満	409	68.7	48.2	45.0	29.6	20.3	21.8	26.7	3.7	2.7
	1,000万円以上	422	66.6	47.4	45.7	29.1	19.9	21.6	22.0	2.8	2.4
	わからない	436	74.3	51.8	33.9	28.2	16.7	16.1	28.2	4.1	4.1
地域	北勢地域	2,135	69.6	50.0	36.4	25.5	20.5	17.8	28.2	3.2	4.3
	伊賀地域	466	71.2	52.4	34.8	20.6	20.6	18.9	30.7	1.9	5.4
	中南勢地域	1,239	71.6	51.3	40.4	24.1	16.9	17.4	29.3	3.0	4.1
	伊勢志摩地域	554	68.6	52.7	34.1	21.5	17.1	19.3	31.2	3.4	5.4
	東紀州地域	157	68.2	45.2	31.2	21.0	16.6	7.6	35.0	3.2	7.0

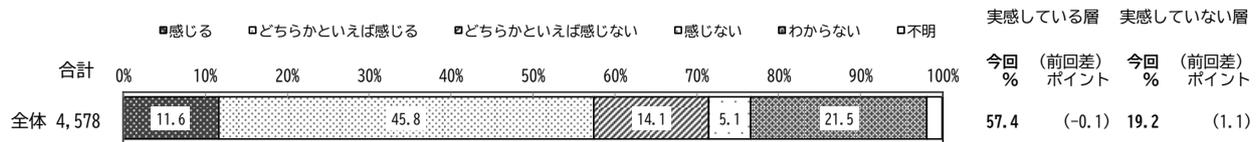
※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

※本質問の回答割合（%）は、「その他」、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 13 あなたは、地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。

○ 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるかについて質問したところ、「実感している層」が 57.4%で、「実感していない層」(19.2%)より 38.2 ポイント高くなっています。

図表 4-13-1 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

○ 男女とも「実感している層」の割合が高くなっています。特に、男性と比較して女性では「実感している層」の割合(58.3%)が高くなっています。

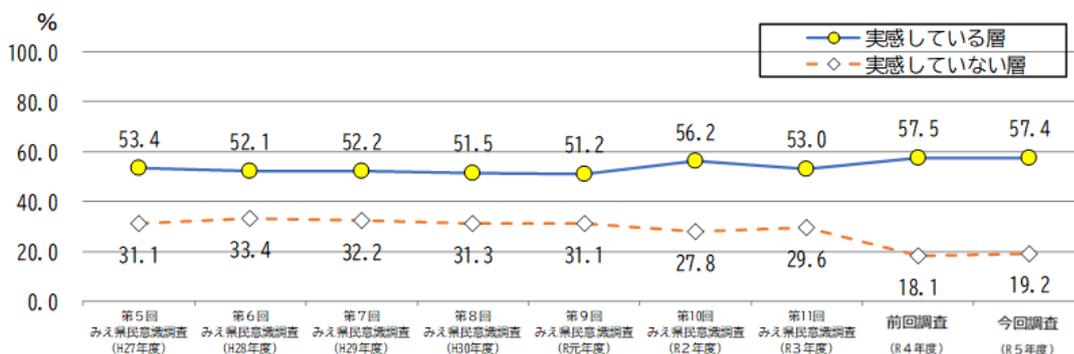
【年代別】

○ すべての年代で「実感している層」の割合が高くなっています。特に、「実感している層」の割合が最も高いのは、40歳代(65.4%)で、最も低いのは60歳代(52.2%)となっています。

【地域別】

○ すべての地域で「実感している層」の割合が高くなっています。特に、「実感している層」の割合が最も高いのは伊賀地域(60.5%)で、最も低いのは東紀州地域(50.3%)となっています。

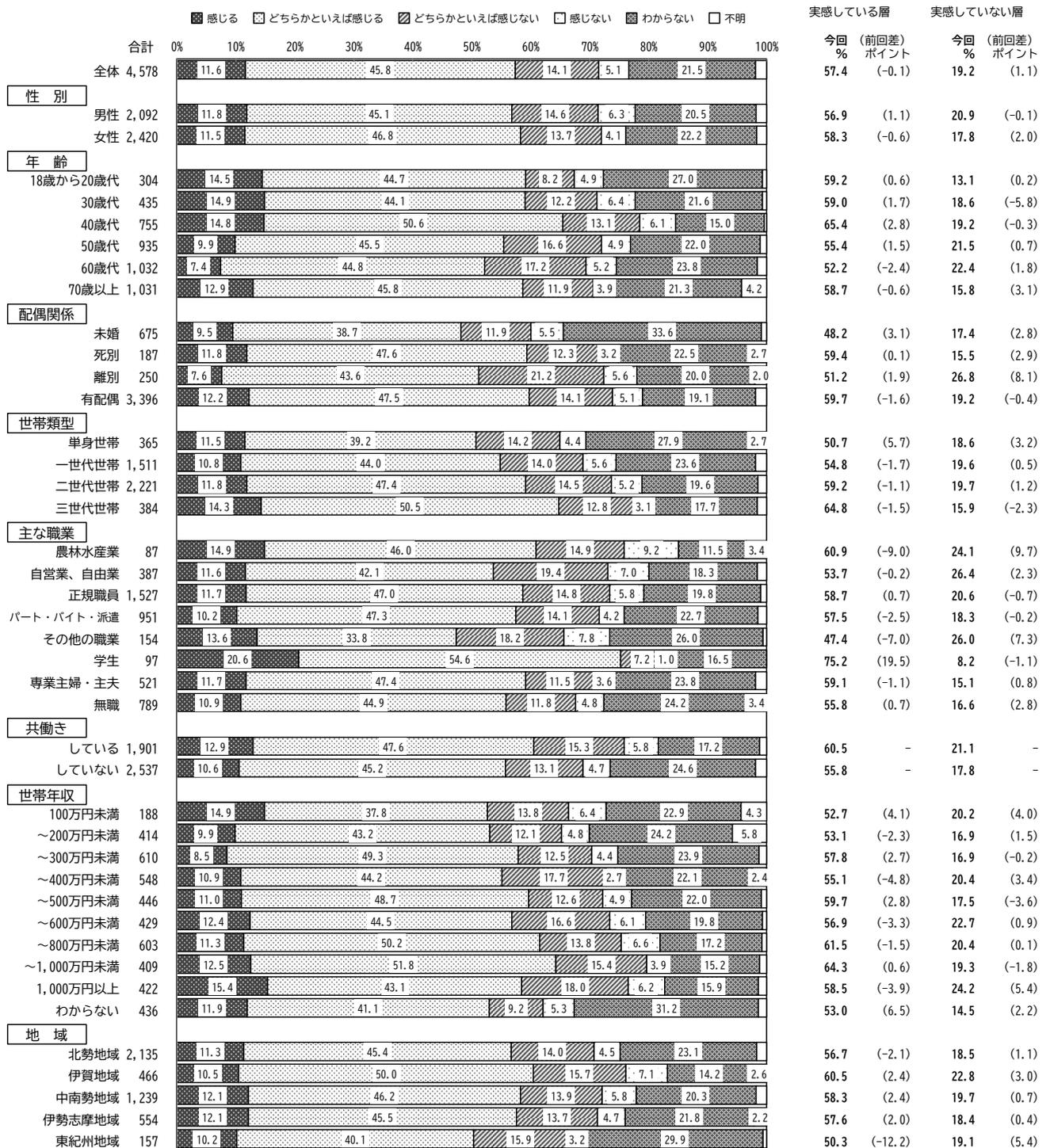
図表 4-13-2 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか



※「第5回みえ県民意識調査」からの推移
 ※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

○ 「実感している層」の割合は、前回調査より 0.1 ポイント低く、「実感していない層」の割合は 1.1 ポイント高くなっています。

図表 4-13-3 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか（属性別）



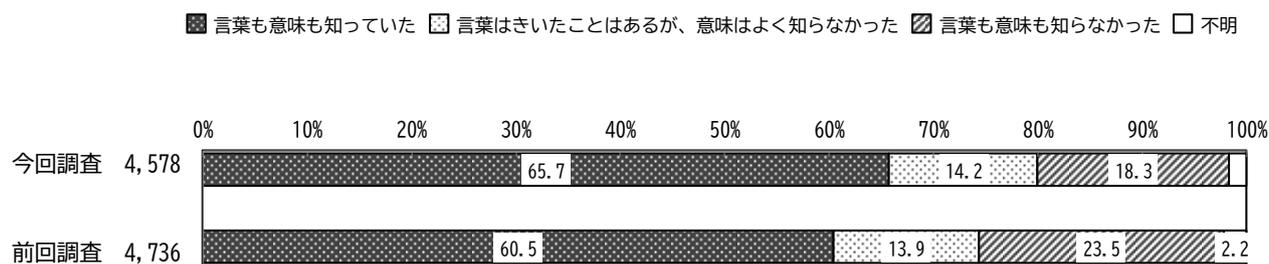
※本質問の回答割合 (%) は、「わからない」や「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出

問 14 あなたは、「ヤングケアラー*」について知っていましたか。

*本来であれば大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを「ヤングケアラー」といいます。

- 「ヤングケアラー」について知っているか質問したところ、「言葉も意味も知っていた」の割合が 65.7%で最も高く、次いで「言葉も意味も知らなかった」(18.3%)、「言葉はきいたことはあるが、意味はよく知らなかった」(14.2%)となっています。

図表 4-14-1 「ヤングケアラー」について知っているか



※本質問の回答割合(%)は、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「言葉も意味も知っていた」の割合が最も高くなっています。特に、男性と比較して女性で「言葉も意味も知っていた」の割合(74.3%)が高くなっています。

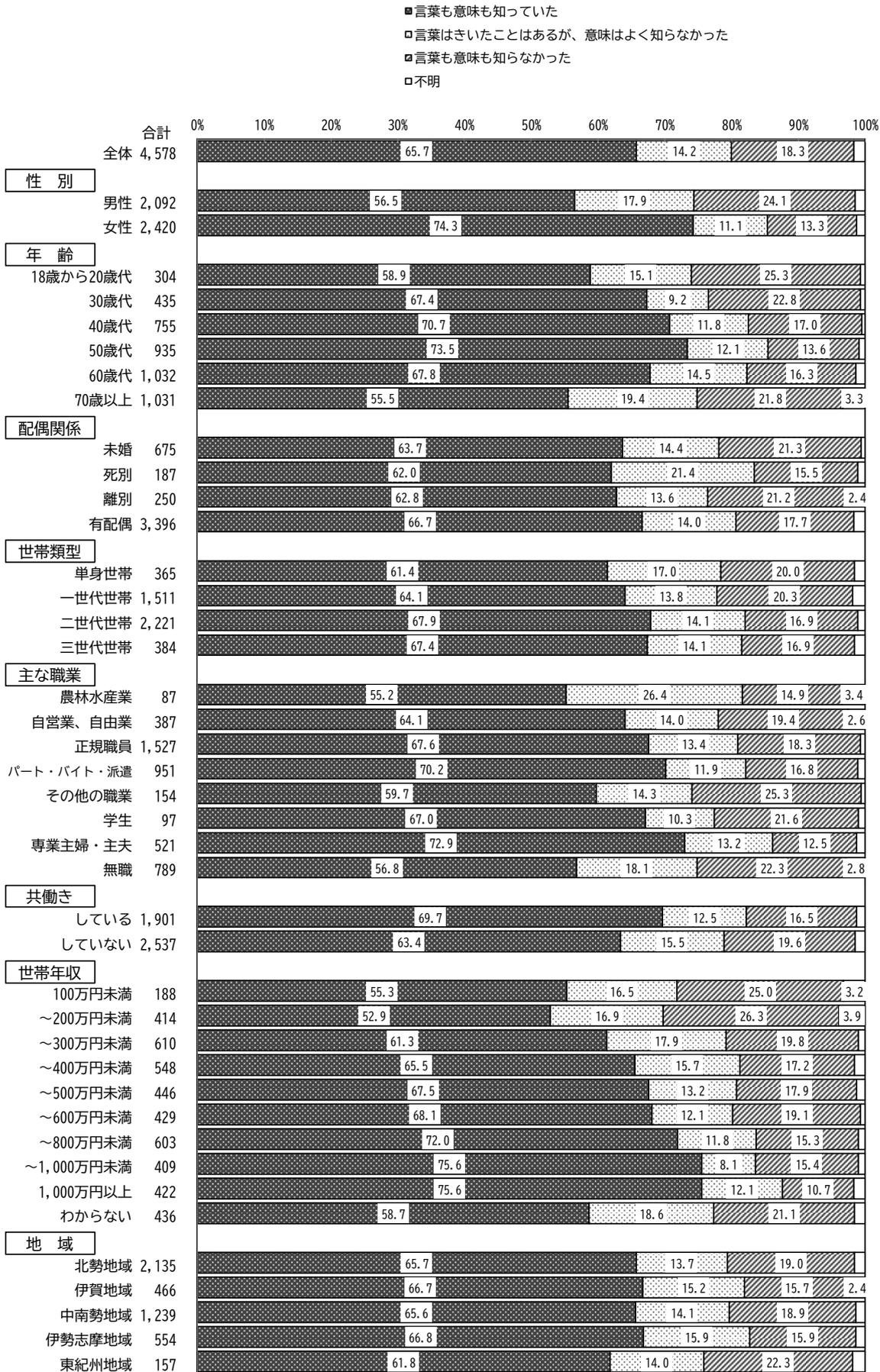
【年代別】

- すべての年代で「言葉も意味も知っていた」の割合が最も高くなっています。特に、「言葉も意味も知っていた」と回答した割合が最も高いのは 50 歳代(73.5%)で、最も低いのは 70 歳以上(55.5%)となっています。

【地域別】

- すべての地域で「言葉も意味も知っていた」の割合が最も高くなっています。特に、「言葉も意味も知っていた」と回答した割合が最も高いのは伊勢志摩地域(66.8%)で、最も低いのは東紀州地域(61.8%)となっています。

図表 4-14-2 「ヤングケアラー」について知っているか（属性別）



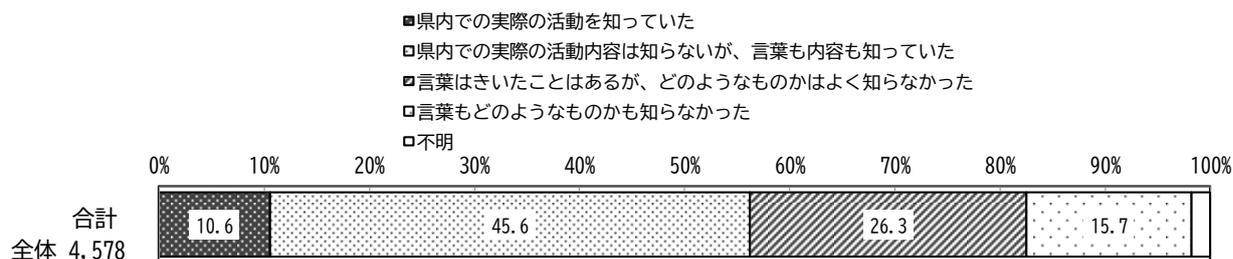
※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

問 15 あなたは、「フリースクール*」について知っていましたか。

*一般に、不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設をいいます。

- 「フリースクール」について知っているか質問したところ、「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」の割合が45.6%で最も高く、次いで「言葉はきいたことはあるが、どのようなものかはよく知らなかった」(26.3%)、「言葉もどのようなものかも知らなかった」(15.7%)となっています。

図表 4-15-1 「フリースクール」について知っているか



※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」の割合が最も高くなっています。特に、男性と比較して女性で「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」の割合 (51.7%) が高くなっています。

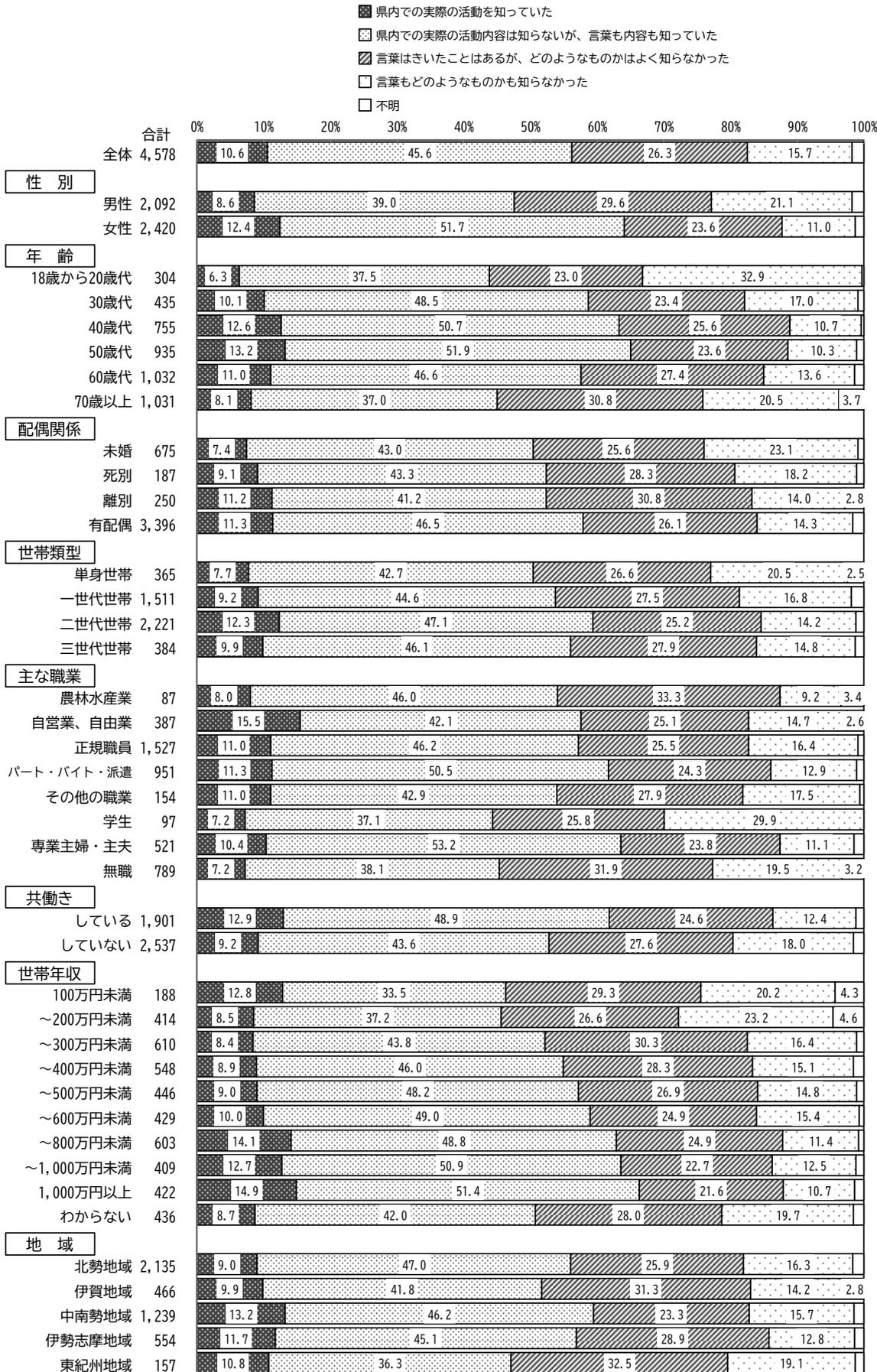
【年代別】

- すべての年代で「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」の割合が最も高くなっています。特に、「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」と回答した割合が最も高いのは50歳代 (51.9%) で、最も低いのは70歳以上 (37.0%) となっています。

【地域別】

- すべての地域で「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」の割合が最も高くなっています。特に、「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」と回答した割合が最も高いのは北勢地域 (47.0%) で、最も低いのは東紀州地域 (36.3%) となっています。

図表 4-15-2 「フリースクール」について知っているか（属性別）



※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

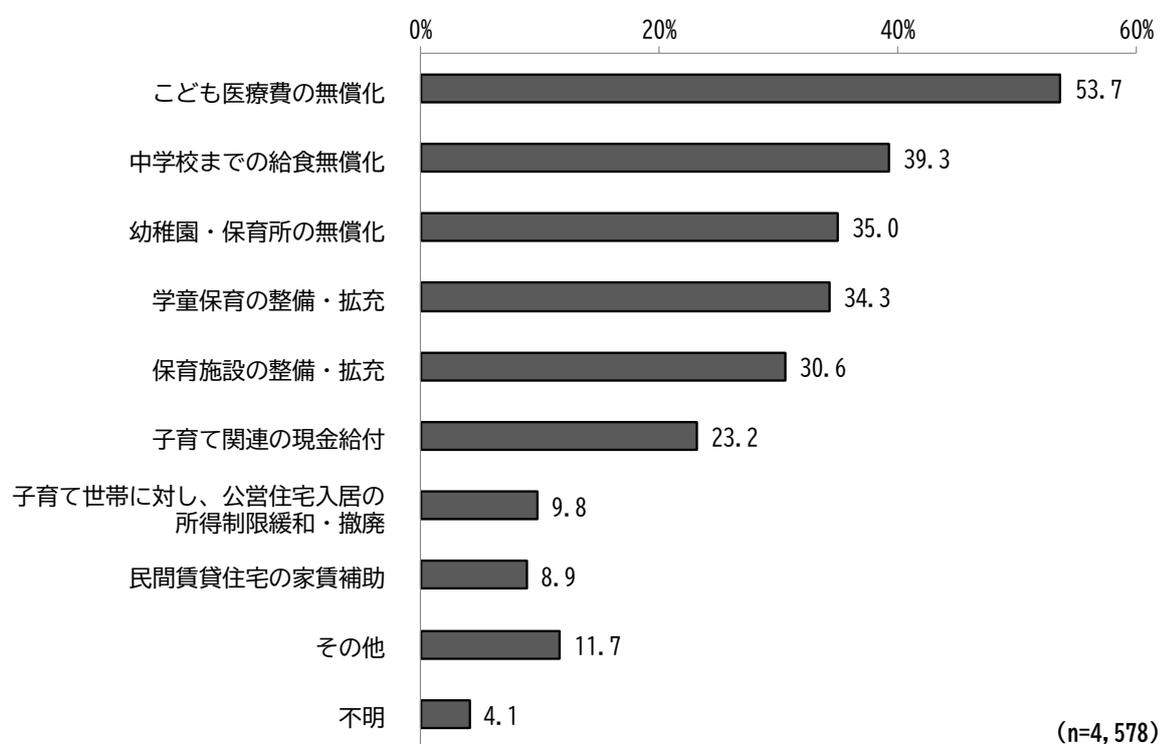
4.3 人口減少対策について

問 16 あなたは、子育て支援策のうち人口減少対策として必要だと思う対策は何だと思いますか。

(〇は3つまで)

○ 子育て支援策のうち人口減少対策として必要だと思う対策について質問したところ、「こども医療費の無償化」の割合が53.7%で最も高く、次いで「中学校までの給食無償化」(39.3%)、「幼稚園・保育所の無償化」(35.0%)となっています。

図表 4-16-1 子育て支援策のうち人口減少対策として必要だと思う対策



※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

図表 4-16-2 子育て支援策のうち人口減少対策として必要だと思う対策（属性別）

合計欄は回答数 (n)、選択肢欄は回答割合 (%)

		合計	こども医療費の無償化	幼稚園・保育所の無償化	保育施設の整備・拡充	学童保育の整備・拡充	中学校までの給食無償化	民間賃貸住宅の家賃補助	子育て世帯に対し、公営住宅入居の所得制限緩和・撤廃	子育て関連の現金給付	その他	不明
全体		4,578	53.7	35.0	30.6	34.3	39.3	8.9	9.8	23.2	11.7	4.1
性別	男性	2,092	53.2	38.0	28.2	29.8	40.1	10.5	12.1	26.4	12.2	3.1
	女性	2,420	54.3	32.4	33.1	38.6	38.7	7.6	7.8	20.9	11.3	4.3
年齢	18歳から20歳代	304	54.6	38.8	31.9	23.0	39.8	13.5	15.5	38.8	9.5	2.0
	30歳代	435	49.9	43.2	28.7	33.1	37.0	8.5	7.1	38.6	14.5	1.8
	40歳代	755	53.2	27.5	29.3	32.5	41.2	8.1	7.4	31.7	17.6	2.3
	50歳代	935	51.8	32.8	32.2	36.3	33.2	8.8	8.3	20.1	15.6	2.6
	60歳代	1,032	52.1	37.5	34.6	40.9	40.7	8.7	8.8	16.5	8.8	3.5
	70歳以上	1,031	59.2	35.2	27.1	31.7	44.4	8.6	13.5	15.7	6.4	7.6
配偶関係	未婚	675	46.2	35.6	35.7	30.4	34.2	13.0	13.6	25.3	12.6	2.7
	死別	187	53.5	28.9	27.8	37.4	41.7	10.7	11.2	12.8	7.0	7.0
	離別	250	47.6	32.0	29.2	33.6	36.4	13.6	12.8	22.0	10.0	5.2
	有配偶	3,396	55.7	35.5	30.1	34.9	40.5	7.6	8.7	23.6	12.0	3.9
世帯類型	単身世帯	365	47.9	35.1	34.0	32.3	36.7	12.9	13.2	19.7	7.9	6.3
	一世帯世帯	1,511	55.5	36.4	31.2	35.8	40.6	9.2	9.5	19.9	9.5	5.0
	二世帯世帯	2,221	53.1	33.7	29.4	34.6	39.0	8.3	9.8	26.0	14.0	2.6
	三世帯世帯	384	58.1	35.7	34.9	31.5	40.4	8.6	8.6	24.2	10.7	3.4
主な職業	農林水産業	87	52.9	32.2	25.3	33.3	33.3	12.6	6.9	26.4	17.2	5.7
	自営業、自由業	387	52.7	34.9	28.7	34.6	39.5	9.6	10.3	20.7	12.1	4.7
	正規職員	1,527	51.0	38.0	31.7	35.0	37.3	8.8	8.7	28.4	13.8	2.2
	パート・バイト・派遣	951	56.4	31.4	32.3	33.6	41.1	8.4	9.5	24.0	10.7	3.5
	その他の職業	154	51.3	37.0	33.1	37.7	37.7	8.4	12.3	22.1	12.3	3.9
	学生	97	63.9	30.9	23.7	19.6	38.7	14.4	16.5	47.4	8.2	1.0
	専業主婦・主夫	521	57.4	32.6	33.4	40.3	40.3	8.3	7.7	16.1	10.4	4.4
	無職	789	53.2	35.6	27.8	32.3	41.2	8.7	12.5	16.3	9.5	6.5
共働き	している	1,901	54.1	34.6	29.2	35.5	39.9	7.9	7.5	27.5	13.7	2.8
	していない	2,537	53.7	35.4	32.2	33.9	39.1	9.7	11.6	20.5	10.4	4.0
世帯年収	100万円未満	188	56.4	26.6	21.8	21.3	42.6	12.2	9.6	23.9	10.1	8.0
	～200万円未満	414	52.4	32.4	28.5	29.5	40.6	9.7	11.1	19.1	7.0	10.6
	～300万円未満	610	55.9	36.7	31.0	34.1	40.8	11.6	13.8	20.2	9.2	3.3
	～400万円未満	548	53.5	38.9	31.4	34.7	41.1	8.6	10.9	18.4	8.0	4.0
	～500万円未満	446	52.0	39.9	30.5	35.9	39.5	9.2	11.2	26.9	10.1	2.2
	～600万円未満	429	57.6	36.4	33.6	35.2	38.9	9.6	7.0	23.1	14.2	1.2
	～800万円未満	603	51.9	36.0	31.3	37.3	39.3	7.1	7.1	29.2	14.8	2.3
	～1,000万円未満	409	56.7	31.5	33.3	40.3	34.2	6.8	6.8	27.1	16.1	2.0
	1,000万円以上	422	48.3	35.1	32.9	39.8	36.3	6.2	8.5	22.5	15.4	3.1
	わからない	436	55.0	37.9	28.9	28.0	40.1	10.6	11.9	24.3	12.2	3.9
地域	北勢地域	2,135	55.1	33.2	30.7	33.2	39.7	8.7	9.4	24.0	12.2	3.9
	伊賀地域	466	51.3	39.5	27.9	32.8	40.8	9.2	12.2	22.7	10.5	4.7
	中南勢地域	1,239	52.5	36.1	33.1	37.2	37.7	8.2	9.2	24.1	12.2	3.3
	伊勢志摩地域	554	53.2	36.3	28.7	34.1	39.4	10.6	11.0	20.9	11.4	4.2
	東紀州地域	157	53.5	34.4	28.0	35.0	42.0	11.5	9.6	17.8	5.7	6.4

※凡例： 第1位 第2位 第3位

※本質問の回答割合 (%) は、「その他」、「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出

